

麻生総理発ボック・ルーマニア首相宛メッセージ

ラ・ムルツィ・アニ！
あけましておめでとうございます！

本年、貴国と我が国が外交関係再開50周年という記念すべき年を迎えるに当たり、ここに貴首相を始めとする貴国政府及び貴国国民に対し、日本国政府及び日本国民を代表し、心よりの祝意を表明いたします。また、我が国が貴国を始め、オーストリア、ハンガリー、ブルガリアというドナウ川流域4カ国との間で「日本・ドナウ交流年2009」を祝福することができることを喜ばしく思います。

この記念すべき年に、我が国では秋篠宮殿下が名誉総裁に御就任され、本年5月頃には同妃殿下とともに貴国を御訪問される予定です。また、貴国ではバセスク大統領に名誉総裁に御就任頂いております。これらはまさに良好な両国関係を象徴し、更に発展させるものとなることでしょう。

最近では、日本のテレビ番組で貴国の世界遺産や美しい自然が度々取り上げられ、多くの日本国民が貴国に魅せられています。貴国においても、昨年は、シビウ市において歌舞伎公演が実現し、日本の伝統芸能への関心が高まったほか、若者を中心に日本のアニメへの根強い人気があることを嬉しく思います。このように、我が国と貴国との交流関係が、文化を通して活発化していることを喜ばしく思います。

私は、貴国の改革努力が結実し、EU加盟を果たされた2007年1月、外務大臣として貴国を訪問しました。また、私の曾祖父である牧野伸顕公使が基礎を築いた貴国と我が国の外交関係再開50周年を迎えるこの記念すべき年に、私の貴国訪問時に日本語学習者から生の声を聞いたことを契機に進めてまいりました日本文化発信ボランティアを貴国に派遣することが決定しましたことを嬉しく思います。この機会に、改めて、我が国は、基本的価値観を共有する重要なパートナーである貴国との様々な分野における連携・協力を強化していく考えであることをお伝えしますと共に、本年が両国関係の里程標として今後の関係の緊密化に一層資するものとなることを祈念致します。

最後に、本年が貴首相を始めとする貴国政府及び貴国国民にとって平和と希望に満ちた一年となることをお祈り申し上げます。

平成21年1月1日
日本国内閣総理大臣 麻生太郎

ルーマニア首相
エミル・ボック閣下